



# 南島

【発信元】一般社団法人 石垣市観光交流協会  
〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4-1F  
TEL:0980-82-2809 FAX:0980-83-6296  
HOMEPAGE: <http://www.yaeyama.or.jp>  
E-mail: [ishigaki@earth.ocn.ne.jp](mailto:ishigaki@earth.ocn.ne.jp)

## 平成31年八重山観光新春のつどい



1月10日(木) 18時より、平成31年八重山観光新春のつどい(主催:同実行委員会)が市内ホテルにて開催され、約200名が参加しました。主催者を代表し、本会会長の大松宏昭が「新空港開港後、観光客が開港前の約2倍で推移。観光業だけでなく、他産業にも波及効果を生み出している。2019年は新たなステージとして、量から質への

転換やボトム期の取り組みを加速させ、国内外から観光客を取り込みたい」とあいさつ。来賓のあいさつで中山義隆市長は「地元の製造業を活性化させ、お土産などの消費額を伸ばして地元で循環させる仕組みを構築したい。下地島空港の国際線開港を控え、宮古と八重山圏域で協力し、国内だけでなくインバウンドの誘客も行いたい」と述べました。西大舛高旬竹富町長は「昨年は西表石垣国立公園が国内初の星空保護区に認定され、地域が活性化したが、現状は周辺離島での観光客の受け入れ態勢は厳しい。人材育成や財政基盤の整備に取り組みたい」と述べました。このほか、大手旅行会社(JTB沖縄・近畿日本ツーリスト・日本旅行・東武トップツアーズ)の各団体代表者による新年のご挨拶、鏡開きや抽選会を行ったほか、舞台では石垣島出身の姉妹ユニットIRISさんがミニライブを行い会に華を添えて下さいました。島内外より多くの関係機関の皆様にご参集いただき、会が滞りなく開催できました事、改めて心より深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

## 那覇地区新年の挨拶まわり



1月29日(火)~30日(水)の2日間に渡り、本会並びに、石垣市、竹富町観光協会、与那国町観光協会、八重山ビジターズビューロー、ミス八重山は、那覇地区の旅行会社・行政機関・マスコミ等の全26ヶ所を2班に分けて訪問しました。沖縄県文化観光スポーツ部部長の嘉手苅孝夫様を始め、県議会議長の新里米吉様、琉球新報社社長・玻名城泰山様と各訪問先では要職の方とお会いして、昨年八重山諸島で起こった主なトピックス、今年注目の話題やイベント情報を掲載した「八重山観光ニュース」を持参し、昨年の石垣市を含む八重山圏域への多大なるご支援や送客などに対する御礼と、更なる送客や広報宣伝に関するお願いをして参りました。各訪問先では、平成30年度の観光消費額が過去最高の940億円に達する見込みをお伝えすると共に、西表石垣国立公園が昨年3月、国際ダークスカイ協会の「星空保護区」に国内で初めて認定された事などをお伝えしました。また「日本最南端!八重山の海びらき2019」が3月24日(日)に与那国島の久部良ナーマ浜で開催が決定した事など、平成31年に八重山で開催されるイベントをPRしました。行程の最後に訪問したOCVBでは、平良朝敬会長より貴重な助言を頂く事も出来、大変有意義な挨拶回りでした。

## \* 会報「南島」\* 12月・1月合併号目次

平成31年八重山観光新春のつどい	1
那覇地区新春の挨拶回り	1
厦門からクルーズ初来島	2
岡山から視察団来島	2
八重山観光従事者ボウリング大会	2
華信航空 運航検討	3
横浜 F マリノスがキャンピン	3
島内ホテルがトリップアドバイザー受賞	3
ホテルククルがアゴダ賞受賞	4
千葉ロッテキャンプ情報	4
八重山観光入域138万人	4
石垣市観光入域推計	5
会員情報	5
空港定期便/クルーズ船	5
イベント/キャンペーン	5





## 厦門からクルーズ初来島

1月12日から中国の厦門（アモイ）を発着港にクルーズ船スーパースターヴァーゴ（総トン数7万5338トン、全長268メートル）で石垣島と宮古島を周遊するクルーズ観光が始まり、初日は中国人客2176人が来島、川平湾などの観光地は賑わいを見せました。この日は貸し切りバス51台が予約され、昨年4月に南ぬ浜町で暫定供用を開始した石垣港新港地区旅客船ターミナルでは過去最大の配車数となりました。市港湾課によると、スーパースターヴァーゴ号による中国からの直接寄港は2月までに8回予定され、約1万6000人の来島を見込んでいます。スーパースターヴァーゴ号による石垣への直接寄港は初のケースで、厦門に加え上海からも予定され、中国人観光客が大幅に増える見通しです。



厦門から石垣へ直接寄港を実現させた株九州国際の孫（ソノ）宿泊手配部長は「宮古島へ3年間、クルーズチャーターを展開しながら、新たな観光地として石垣への寄港を計画してきた。石垣島への誘客で更に満足度を高めたい」と今後の展開に期待を寄せています。島内観光は、川平湾でのグラスボート乗船や鍾乳洞、免税店などを巡るコース。ただ、乗客は下船後、昼食の時間がないことから船内で食事を済ませており、地元企業からは「ランチ消費」を求める声もあります。

川平湾にある飲食店・島の駅カピラガーデンで、石垣島マグロの解体ショー等で外国人観光客の取り込みを行っている(有)石垣島ショッピングプラザの山内昌一郎専務取締役は「解体ショーによる集客効果は高いが、狙いは島の特産物のPR。食を通して川平に訪れる国内外観光客の滞在時間を伸ばし、地域経済へ波及させることは重要。中国から新規で訪れるクルーズ客には期待している」と話しました。

一方で、交通渋滞なども予想されており、東運輸(株)の久場島清俊常務取締役は「業界には良い影響だが、交通渋滞を避ける為、時間帯によって混交ルートを変更する等の工夫をしている」と話しました。

継続寄港に孫部長は「5月にも別のクルーズ船で直接寄港を予定しているが、雨天時の乗客対応や貸し切りバスの増車は必要」と指摘する一方、「石垣島への寄港を通して中日の交流を深めたいと考えている」と前向きに話しました。（八重山毎日新聞 2019/01/13より引用）

## 岡山から視察団来島

1月17日夜、市内ホテルで、日本トランスオーシャン航空、日本航空岡山支店主催の情報交換会が行われ、岡山から訪れた視察団と地元観光従事者が誘客に向けて意見を交わしました。



日本トランスオーシャン航空によると、岡山と那覇を結ぶ直行便は1988年3月の初就航から今年で31年を迎え、年間約8万人の利用者を維持しています。同社によると、岡山からの観光客は沖縄本島での滞在がメインとなっており、今回の視察研修で修学旅行などの団体客等、乗り継ぎ便による八重山への観光需要を高める狙いです。

研修は2泊3日で行われ、初日は石垣島内、2日目は西表島等、離島の宿泊施設を中心に視察しました。情報交換会であいさつした沖縄ツーリスト(株)大阪支店の大野晶裕営業課長は「岡山から一人でも多く送客し、八重山の入域客数を高めたい」と意気込みました。

日本トランスオーシャン航空八重山営業所の黒島勝所長は「昨年の八重山は入域観光客が3年ぶりに前年を下回り、一服感があるが、星空保護区の認定や世界自然遺産登録など観光の明るい材料がある。ツアー造成等、八重山に送客してほしい」と協力を求めました。（八重山毎日新聞 2019/01/20より引用）

## 八重山観光従事者ボウリング大会



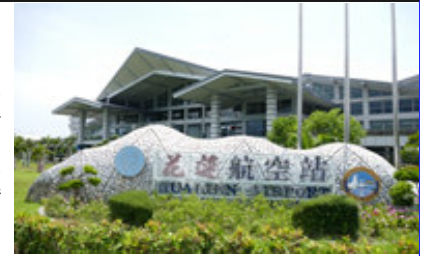
1月19日、本会青年部（請盛真実部長）は八重山観光従事者新春ボウリング大会を石垣あやばにボウルで開催し、観光関連業者から約30名が参加して親睦を深めました。主催した青年部の請盛部長は「毎年恒例の新春ボウリング大会は、観光従事者の親睦と情報交換を目的に開催しており、会員企業が交流を深めていた。来年はもっと多くの事業所が参加できるように更に盛り上げていきたい」と抱負を述べました。





### 華信航空・石垣－花蓮－台北便 運航検討

1月19日、台湾の航空会社、華信航空が今夏、台湾東部の花蓮－宮古・石垣便の運航を検討していると発表しました。実現すれば、台湾から先島へのアクセスルートが増える事になります。台湾紙によると、台北発着の宮古便と石垣便をそれぞれ花蓮に立ち寄らせるルートを検討しているとの事です。花蓮空港は昨年、香港便が撤退し、現在は国内線だけが発着。台湾は発展が進む西部地区と東部地区との間に経済格差があり、東部の中核都市と位置づけられる花蓮の活性化が課題となっています。現在、台湾（台北）と石垣間は中華航空が夏季に週2～3便運航しています。



### 横浜 F・マリノスがキャンプイン

1月19日、J1の横浜F・マリノスがサッカーパークあかんまで春季1次キャンプを開始しました。選手全員でストレッチとランニングを行った後、3対3で互いに攻守の切り替えを意識したパス回しの練習等を行いました。選手らは、記念撮影にも応えるなど、ファンとの交流も積極的に行っていました。

午前の初練習を終え、就任2年目のポステコグラー監督は「ここには設備、天候もすべてがそろっている。選手たちもいい練習が出来た。優秀なスタッフと共に、更に良いチームを作りたい」と語りました。

チームの中心的な役割を担うMFの扇原貴宏氏は「暖かい気候でシーズンを迎えられるいいスタートになった。今シーズンはチームを象徴する選手が抜けた一方で、新しく選手も入り、自分だけでなくみんなも責任感を持ってやっていると思う。強いマリノスをつくっていききたい」と意気込みました。

練習前には、関係者による歓迎セレモニーが行われ、中山義隆市長やミス八重山・南十字星の浦内菜さんらが歓迎しました。



マリノス君

© Y.F. MARINOS

### 島内ホテルがトリップアドバイザーファミリー部門受賞

1月23日、世界最大の旅行サイト「Trip Advisor(トリップアドバイザー)」が世界中の旅行者からの口コミ投稿で評価が高い宿泊施設をランキング付けする「トラベラーズチョイスホテルアワード2019」を発表し、ファミリー部門の国内ランキング第2位にクラブメッド石垣島、同20位にANAインターコンチネンタル石垣リゾートが選出されました。

トラベラーズチョイスホテルアワードは、過去1年間で世界中の旅行者が寄せた口コミや評価点等を独自集計し、ランキングを発表しています。

今回はトリップアドバイザーに登録している世界94カ国と8つの地域で7812施設が選出されました。

国内では「サービス」「ベストバリュー」「ファミリー」「ロマンチック」等の9部門中、8部門で141施設が受賞しました。

八重山毎日新聞(2019/01/24)より引用







## ホテルククルがアゴダ賞受賞

石垣島ホテルククルが、八重山・先島エリアで初めて世界中のホテルを予約できるウェブサイトAgoda.comを運営するアゴダ社（本社シンガポール）が選ぶ、この1年に優れたサービスを提供した宿泊施設に贈られる「Agoda Gold Circle Awards 2018」を受賞しました。

同アワードは今年で10年目。2018年は国内230施設、沖縄県内では23施設が受賞しました。

受賞基準は、Agodaの宿泊施設の上位1%、顧客レビューが常に素晴らしい、競争力がある価格設定と予約状況、素晴らしい顧客体験を提供するコミットメントの4点があります。

受賞に対し、同ホテルは「香港ー石垣の直行航空便などを中心に、近年のインバウンド人気の高まりが評価に影響していると考えられる事や、これを励みに今後も石垣島の自然や文化の素晴らしさをホテルに織り込み、オンリーワンのサービスを提供できるホテルを目指したい」とコメントしています。



## 千葉ロッテキャンプ情報



1月30日午後、千葉ロッテマリーンズの監督や選手、スタッフら約150人が、2月1日からスタートする春季キャンプのため石垣空港へ到着しました。空港では歓迎セレモニーが開催され、石垣市等の関係機関、地元や本土からの大勢のファンが迎え、日本一を目指す選手らを歓迎しました。セレモニーでは、山室晋也球団社長、井口資仁1軍監督、今岡真訪2軍監督、鈴木大地選手会長、中村奨吾選手らに、地元の少年野球チームの子供達から歓迎の花束が贈られました。また、キャンプ初日は気温が18度、曇りで風が吹き少し肌寒い天気となりましたが、紅白戦が行われ、会場には地元ファンや観光客約1100人が訪れ、写真を撮ったり、試合の様子に見入っていました。今年で12年目となる春季キャンプ（1軍・2軍合同）は、1軍は2月1日～11日、2軍は21日までの期間、石垣市中央運動公園野球場をメインに行われました。期間中は4年連続となる、アジアゲートウェイ交流戦（9・10日）千葉ロッテマリーンズ VS Lamigoモンキーズ（台湾）も開催されました。

## 八重山観光消費額・初の900億円突破

2月5日、沖縄県八重山事務所は2018年の八重山入域観光客数が、137万9715人に達したと発表しました。観光消費額推計も前年比11.2%増（95.6億円増）の945億7000万円で過去最高になりました。月別では3～11月に10万人台を維持し、4、5、12月が単月の過去最高を記録。5月は14万9250人となりました。

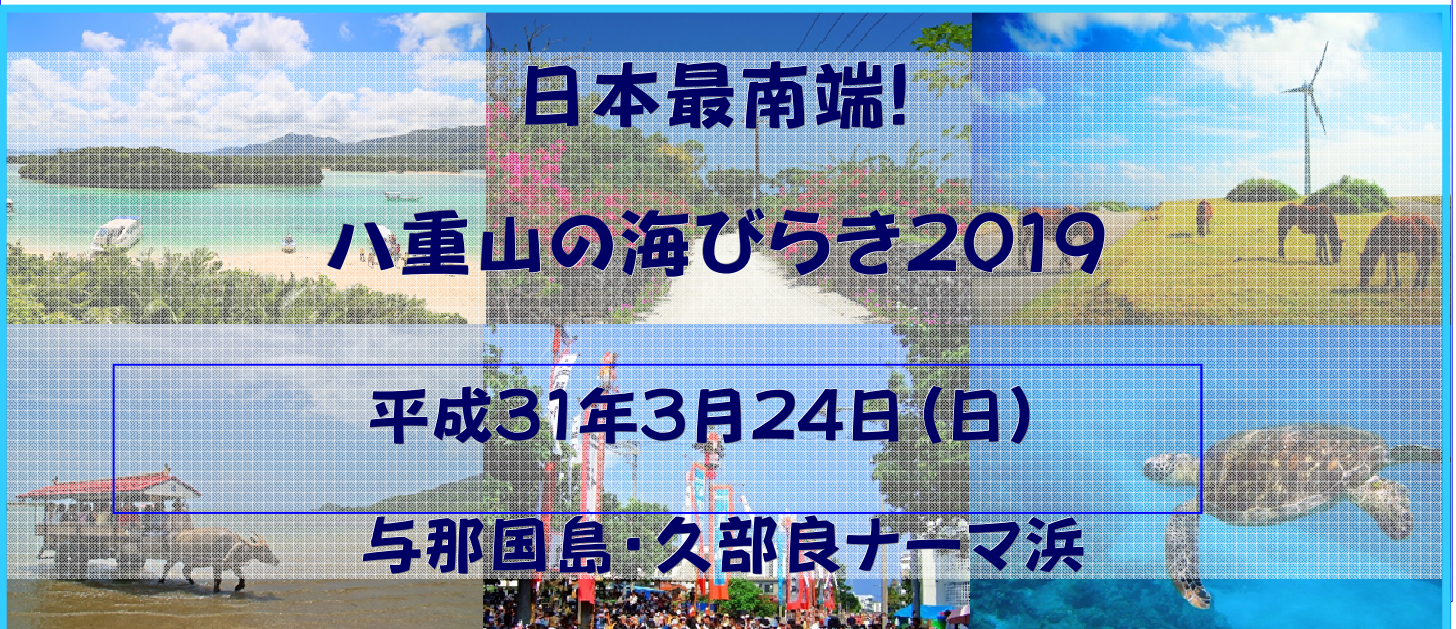
観光客の来島が堅調を維持した理由に同所は、ANAが石垣ー福岡便が定期運航を開始した事、バニラエアがLCC初の首都圏の運航を開始した事や空路による香港や台湾からの来島が増加した事が考えられると分析。今後も八重山地域の観光需要は継続する見通しを示しています。一方、消費単価を増やすために消費額や観光客数と需要バランスの模索等が課題となっています。

# 日本最南端!

# 八重山の海びらき2019

## 平成31年3月24日(日)

## 与那国島・久部良ナーマ浜







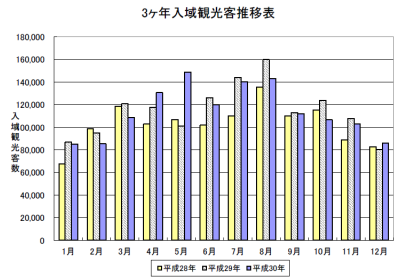
## 平成30年 石垣市観光入域者数推計表

平成30年12月の入域総数は98,472人で、その内観光客数は86,155人と推計される。空・海路別内訳（観光客数）は、空路79,411人、海路6,744人となる。

空路では、香港エクスプレスが9回就航が有り1,535人の降客があった。またフジドリームエアラインのチャーター機は5回の就航が有り288人の降客があった。

海路では、スーパースターアクエリアスが2回の寄港、4,080人の降客があった。また、ウェルステルダムが1回、2,660人の降客があった。また、海路では悪天候による入港キャンセルが2回あった。

平成30年は約137万人の来島で、対前年比としては99.5パーセントで微減となったが、空路は対前年比105.2%、海路は82.9%になっており、空路においては前年より53,199人増となった。要因としては3月よりANA石垣ー福岡間が定期運航となった事、7月にバニラエアが石垣ー成田、石垣ー那覇便を新規就航した事があげられる。海路においては、台風や悪天候などによる入港キャンセルが続いたことにより、対前年比82.9%で60,438人の減となった。しかし、年間消費推計額は、消費単価の高い空路客の増加を背景に900億円を超え、前年を大きく上回った。



## 【会 員 情 報】平成31年1月31日現在 (336会員)

【新入会員】2件・コーラルテラス石垣島（宿泊業）・石垣島馬広場（観光施設）

【退会会員】1件・トックトックレンタカー（レンタカー）

## 【石垣空港定期便情報】 ※急遽計画中止・変更になる場合があります。

## ★チャイナエアライン★ 運航予定期間・発着時間

※現在運休中 4月頃から運航再開予定

## ★香港エクスプレス★ 運航予定期間・発着時間

【3月26日まで】 UO813便 火曜日 石垣発 11:45ー13:10 香港着  
 【3月26日まで】 UO813便 土曜日 石垣発 11:30ー12:55 香港着  
 【3月26日まで】 UO812便 火・土曜日 香港発 07:45ー10:45 石垣着

※使用機材：Airbus A320（174席・180席または188席）  
 ※スケジュールは現地時間で記載しております。  
 ※上記スケジュールは関係国政府の認可が条件となります。



## 【クルーズ船情報・入港時間】 2月18日現在

※急遽計画中止・変更になる場合があります。

- |   |  |
|---|--|
| ★【ホーランドアメリカン/ウェルステルダム】<br>【3月】10日 8:00    | ★【リージェント・セブンシーズ・クルーズ/セブンシーズマリナー】<br>【3月】17日 7:00 |
| ★【スタークルーズ/スーパースターアクエリアス】<br>【2月】27日 11:00 | ★【プリンセスクルーズ/サンプリンセス】<br>【3月】26日 13:00            |
| ★【コスタクルーズ/コスタ・ネオロマンティカ】<br>【2月】18日 8:00   | ★【コスタクルーズ/コスタ・アトランティカ】<br>【3月】27日 8:00           |
| ★【日本クルーズ客船(株)/ばしふいっくびいなす】<br>【2月】24日 8:00 | ★【フェニックスライゼン/アルバトロス】<br>【3月】28日 8:00             |
| ★【ウィンドスターズ社/スターレジェンド】<br>【3月】9日 9:00      | ★【カーニバルマリタイム/アイダベラ】<br>【3月】29日 8:00              |
|   | ★【ドリームクルーズ/エクスプローラー ドリーム】<br>【3月】30日 11:00       |

【クルーズ船問合せ】石垣市建設部港湾課 TEL：0980-82-4046

## ★イベント/キャンペーン情報 2・3月★

日付	イベント名	場 所	お問い合わせ
2月22日(金) 開演 20:00~	郷土芸能の夕べ 光扇会 大浜治子八重山民俗舞踊研究所	石垣市民会館 中ホール	石垣市観光交流協会 0980-82-2809
2月24日(日)	黒島牛まつり	黒島多目的広場	黒島牛まつり実行委員会 0980-85-4129
3月15日(金) 開演 20:00~	郷土芸能の夕べ 光扇会 田場絹枝舞踊道場	石垣市民会館 中ホール	石垣市観光交流協会 0980-82-2809
3月22日(金) 開演 20:00~	郷土芸能の夕べ 光扇会 新城知子八重山舞踊稽古場	石垣市民会館 中ホール	石垣市観光交流協会 0980-82-2809
3月24日(日)	日本最南端！八重山の海びらき2019 in与那国島	久部良ナーマ浜	八重山ビジターズビューロー 0980-87-6252